混構造の解説とイメージ図　（平１９国交告第５９３号　第３号）

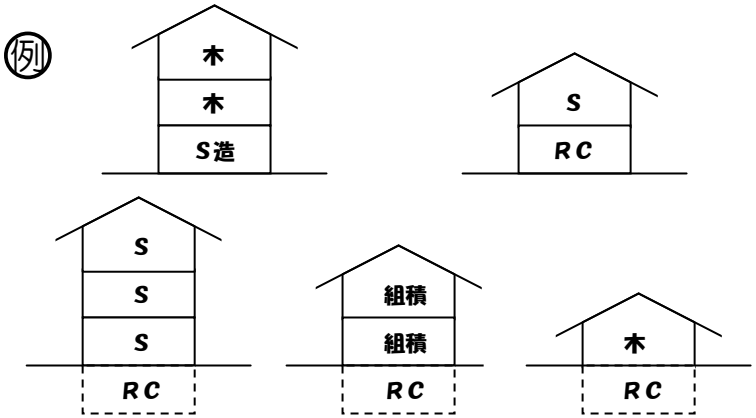
第３号　内容

木造、組積造、補強コンクリートブロック造及び鉄骨造のうち二以上の構造を併用する建築物又はこれらの構造のうち一以上の構造と鉄筋コンクリート造若しくは、鉄骨鉄筋コンクリート造とを併用する建築物であって、次のイ又はロに該当するもの以外のもの（第４号イからハまでのいずれかに該当するものを除く。）

イ：構造的に一体

◎　二以上の部分がエキスパンションジョイントその他相互に応力を伝えない構造方法のみで接している建築物**以外の建築物**

例



木造・組積造・補強ＣＢ造・鉄骨造の混構造、また左記とRC造・SRC造との混構造で（1）～（5）までに該当するもの

（１）地階を除く階数が3以下
（２）高さが１３m以下、かつ、軒の高さが9m以下
（３）延べ面積５００㎡以内
（４）鉄骨造の階がフロー図Ⅰ-①イの1）、3）、4）に適合
（５）RC造、SRC造階がフロー図Ⅰ-②1）及び2）に適合

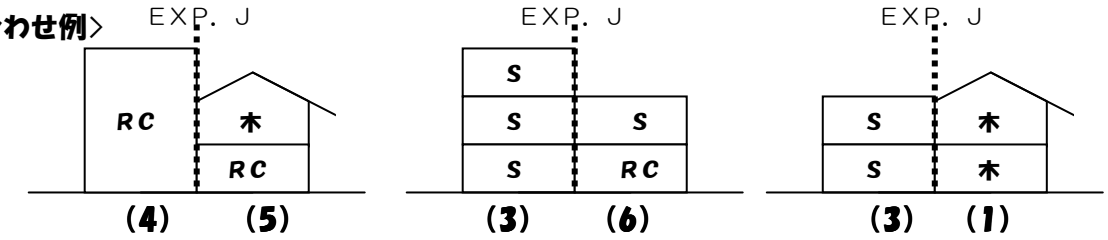
⚠ 第３号本文中に『次号イからハまでのいずれかに該当するものを除く。』とあるため、第４号イからハまでに示す組合わせパターンに該当しない木造とRC造の混構造は、上記第３号に該当するか確認をおこなう。

第4号イからハまでに該当しない木造とRC造の混構造　例

ロ：構造的に分離

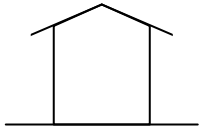
分離した部分それぞれが、下記（1）～（6）に該当するもの

〈組合わせ例〉



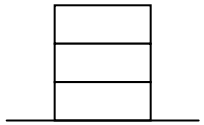
◎　二以上の部分がエキスパンションジョイントその他相互に応力を伝えない構造方法のみで接している建築物

（1）木造



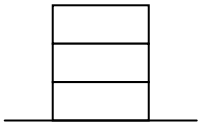
高さが１３m以下、かつ、軒の高さが9m以下

（2）組積造・補強ＣＢ造



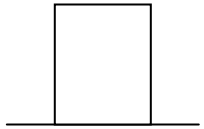
地階を除く階数が３以下

（3）鉄骨造



地階を除く階数が３以下、高さが13m及び軒の高さが9m以下で、フロー図Ⅰ-①イ又はロのいずれかに該当するもの

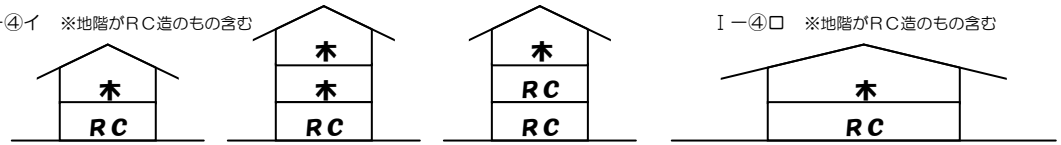
（4）ＲＣ造・ＳＲＣ造



高さが13m以下で、フロー図Ⅰ-②１）及び２）に該当するもの

（5）木造とＲＣ造の混構造

Ⅰ－④イ　※地階がＲＣ造のもの含む



Ⅰ－④ロ　※地階がＲＣ造のもの含む

フロー図Ⅰ－④イ又はロに該当するもの

（6）木造・組積造・補強ＣＢ造・鉄骨造の混構造、また左記とRC造・SRC造との混構造

例

フロー図Ⅰ－③１）から５）に該当するもの